



# 平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社スノーピーク  
 コード番号 7816 URL <http://www.snowpeak.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山井太

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 野口正城

TEL 0256-46-5858

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	7,613	5.9	83	89.7	116	84.2	31	
28年12月期第3四半期	7,190	21.0	815	65.1	735	60.5	417	63.4

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 31百万円 ( %) 28年12月期第3四半期 397百万円 (64.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	4.48	
28年12月期第3四半期	59.64	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	10,386	4,359	41.9
28年12月期	8,299	4,441	53.3

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 4,347百万円 28年12月期 4,425百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		15.00	15.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成29年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行う予定です。平成29年12月期の配当予想については、当該株式分割の影響を考慮した配当金の額を記載しております。株式分割考慮前の1株あたり期末配当予想額は25円であり、平成29年2月9日に公表いたしました株式分割前1株あたり予想年間配当金額から実質的な変更はありません。

## 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	5.2	340	60.2	356	55.8	136	72.0	9.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行う予定です。業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割が平成29年12月期の期首に行われたと仮定し算定しております。なお、当該株主分割を考慮しない場合の「1株当たり当期純利益」は通期19円56銭となります。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 2社(社名) 株式会社スノーピークグランピング  
株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	7,040,000 株	28年12月期	7,040,000 株
期末自己株式数	29年12月期3Q	41,502 株	28年12月期	51,831 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	6,995,679 株	28年12月期3Q	7,000,403 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(株式分割について)

当社は、平成29年11月9日開催の取締役会において、平成29年12月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に株式分割することを決議し、併せて配当予想の修正を行っております。詳細は平成29年11月9日公表の「株式分割、株式分割に伴う定款の一部変更及び配当予想修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、「2. 配当の状況」における平成29年12月期(予想)の配当金及び「3. 平成29年12月期の業績予想」における1株あたり当期純利益につきましては、分割後の株式数を基に算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する情報	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年1月1日～平成29年9月30日)における世界経済は、欧州では弱さのあるものの、米国を中心に全体としては緩やかに回復してきております。日本経済におきましても、緩やかな回復基調が続きました。当社グループの属するアウトドア業界におきましても、引き続き堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、既存事業の拡大と新規事業の推進、オペレーションの革新に取り組みました。

国内における既存事業の拡大としましては、直営店の既存店(オープン年の翌年から1年を経過した店舗)は上期に引き続き好調を維持し、前期比102.0%で第3四半期累計期間を終えております。一方で、直営店の新規出店による人員の異動に伴う販売力の低下から、第2四半期累計期間における既存店売上が前期比81.4%と大きく落ちていたインストアにつきましても、8月からの顧客エンゲージメントシステムの稼働により、ポイントカードデータを有効活用した営業活動が回り始め、第3四半期会計期間は同93.1%と回復しております。これら既存店売上の回復に加え、前年及び本年度にオープンした店舗の売上が寄与しております。また、オンラインストアをリニューアルし、レスポンシブル対応のWebページとすることで、ユーザーインターフェースの向上に努め、スマートフォン等のモバイルデバイスからの流入を増加させました。アパレル事業につきましても、2017A/Wの販売を開始し、順調に推移しました。これらの結果により、第3四半期会計期間の国内売上は106.0%となっております。

海外各拠点の状況としましては、上期前期比割れで推移していた米国の売上が前年同期比106.8%とプラスに転じたほか、台湾及び韓国では、第3四半期累計期間で前年同期比111.0%、118.6%と好調を維持しており、前年度までの減収基調から増収に転じた韓国では、アパレルの直営店をファッション感度の高い若者の多く集まるソウル東部・建大(コンデ)大学周辺の繁華街にオープンした韓国初のコンテナショッピングモール「Common Ground」にオープンする等、攻めに転じております。

新規事業の推進としまして、アパレル事業におきましては、ニューヨークのストリートを中心に世界中で絶大な支持を誇るStaple Pigeonとのコラボレーションアイテムをリリースする等、ファッション感度の高い層にも訴求力のある製品を開発してまいります。アーバンアウトドア事業におきましては、株式会社リビングギャラリーの行う団地再生プロジェクト「天野エルカールプロジェクト」に参画しました。隣地との境界線上の構造物をなくすことで、隣人同士の会話が弾み、絆を育むという街並みづくりの理念に、スノーピークのこれまでの知見やアーバンアウトドアの発想を活かすことで、活力に満ちた街のコミュニティづくりを図ります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,613,482千円(前年同期比5.9%増)となりました。一方で、昨年度から続く戦略的な投資(直営店の出店、スノーピークOperation Core HQ2、SAP)による影響から、固定費は増加しており、営業利益83,653千円(同89.7%減)、経常利益116,494千円(同84.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は31,338千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ2,087,278千円増加し、10,386,398千円となりました。流動資産は、現金及び預金の減少234,082千円、受取手形及び売掛金の増加444,361千円、商品及び製品の増加326,500千円等により前連結会計年度末に比べ962,344千円増加して4,444,125千円となり、固定資産は、3月から稼働を開始した「スノーピーク Operation Core HQ2」に伴う建物及び構築物の増加1,660,791千円等により、前連結会計年度末に比べて1,124,933千円増加し、5,942,272千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2,169,594千円増加し、6,026,836千円となりました。流動負債は、短期借入金の増加1,850,000千円、買掛金の増加287,175千円及び未払法人税等の減少263,368千円等により前連結会計年度末に比べ2,340,530千円増加して3,974,313千円となり、固定負債は、長期借入金の返済による減少249,051千円等により、前連結会計年度末に比べて170,936千円減少し、2,052,522千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少31,338千円のほか、配当金の支払いによる利益剰余金の減少105,577千円等により、前連結会計年度末に比べ82,315千円減少し、4,359,562千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年8月9日に公表しました予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,160,120	926,038
受取手形及び売掛金	907,581	1,351,943
商品及び製品	1,168,300	1,494,801
仕掛品	24,003	42,129
原材料及び貯蔵品	39,306	82,164
その他	186,936	551,692
貸倒引当金	△4,468	△4,644
流動資産合計	3,481,780	4,444,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,533,622	3,194,413
その他(純額)	2,284,945	1,196,370
有形固定資産合計	3,818,567	4,390,783
無形固定資産		
その他	418,870	732,964
無形固定資産合計	418,870	732,964
投資その他の資産		
その他	579,901	818,523
投資その他の資産合計	579,901	818,523
固定資産合計	4,817,339	5,942,272
資産合計	8,299,119	10,386,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	127,009	414,184
短期借入金	355,000	2,205,000
1年内返済予定の長期借入金	352,068	333,497
未払法人税等	263,368	—
賞与引当金	—	42,380
役員賞与引当金	—	3,750
その他	536,337	975,501
流動負債合計	1,633,783	3,974,313
固定負債		
長期借入金	1,381,552	1,132,501
製品保証引当金	168,153	191,994
ポイント引当金	119,506	155,998
退職給付に係る負債	18,502	27,067
資産除去債務	91,422	105,035
長期末払金	415,663	415,663
その他	28,656	24,261
固定負債合計	2,223,458	2,052,522
負債合計	3,857,241	6,026,836
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	99,520	99,520
資本剰余金	2,453,118	2,453,118
利益剰余金	2,058,018	1,921,103
自己株式	△188,485	△133,826
株主資本合計	4,422,171	4,339,914
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,787	7,411
その他の包括利益累計額合計	3,787	7,411
非支配株主持分	15,919	12,235
純資産合計	4,441,877	4,359,562
負債純資産合計	8,299,119	10,386,398

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	7,190,429	7,613,482
売上原価	3,606,539	3,793,366
売上総利益	3,583,890	3,820,116
販売費及び一般管理費	2,768,215	3,736,462
営業利益	815,674	83,653
営業外収益		
受取利息	184	138
持分法による投資利益	—	3,831
為替差益	—	25,666
その他	20,538	18,463
営業外収益合計	20,723	48,100
営業外費用		
支払利息	4,280	5,539
債権売却損	6,787	5,838
為替差損	82,734	—
シンジケートローン手数料	3,395	3,435
その他	4,026	445
営業外費用合計	101,222	15,259
経常利益	735,174	116,494
特別損失		
減損損失	—	70,171
固定資産除却損	10,427	1,050
震災関連損失	18,138	—
特別損失合計	28,566	71,221
税金等調整前四半期純利益	706,608	45,273
法人税、住民税及び事業税	390,829	149,555
法人税等調整額	△100,179	△69,259
法人税等合計	290,650	80,295
四半期純利益	415,958	△35,022
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,549	△3,683
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	417,508	△31,338



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	415,958	△35,022
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△18,043	3,624
その他の包括利益合計	△18,043	3,624
四半期包括利益	397,915	△31,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	399,465	△27,713
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,549	△3,683

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、アウトドアライフスタイル事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。